

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、12月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、巻頭コラム「ソフトウェアにおける2つの世界」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■ソフトコンポーネントやITシステムとしては別に、利用する側から“サービス”として考えることについて言及されている。“サービス”にはソフトやITシステムとは違った特徴がある。サービスのマネジメントやエンジニアリングについてのテーマも取り上げてほしい。(宮入 勉)

■第一線の研究者が書いたコラムとして、非常に面白かった。言っておられることは、システム設計等で意識することだが、やはりユーザの個々の動作までを思い描くのは非常に難しいのが現実だ。この種のイキイキした記事は、巻頭コラムには適切だと思った。(匿名希望)

特集「未踏ユースから育ったタレントたち」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■全般的に個人的な内容でつまらない。採択基準の説明や客観的データが欲しい。(匿名希望)

■テーマとしてはいいが、数を絞り込んで、1つ1つのページ数を増やしてほしい。また会員の広場だけでなく、他の記事もWebと連携してほしい。たとえば、未踏ユースで絞り込んだ結果、掲載できなかったものはWebで掲載するようしてほしい。(五味 弘)

■若い研究者たちの生き生きとした姿が見えてくるような内容だった。「自分の欲しいソフトウェアを創る」は、20年以上会誌を購読してきて初めて、笑いながら読んだ記事であった。このようなセンスある記事を今後も希望する。(平林健二)

■未踏のアウトプットは、一人ひとりの世界観がゼロから具現化したかのような印象を持っていたので、内側の目線でチームが語られているところがとても興味深かったです。(匿名希望)

■未踏事業の参加者の内情を知ることができた。若い時期に自分のしたいことに集中できる環境が得られることで、突出した才能に磨きがかかるとは思っていたが、人的ネットワークの構築にも成功しているようで、長期的な影響も考慮すると、以前よりも「良い成果が出ている」と考えるようになった。(匿名希望)

■大学等での講義や演習とは無縁に、ソフトウェア開発に強

い興味を持つ学生がいて、彼らの要望を実現するために、大学とは別の場を設けている点には非常に興味と関心がある。ビル・ゲイツやスティーブ・ジョブズがそうであったように、革新的なソフトウェア開発者が高校・大学と進む教育課程とは別個のルートから見出される可能性はないわけではなく、その意味で「未踏ユース」は面白い取り組みである。幅広く「未踏ユース」への関心を高めさせるには、今回の会誌の役割は大きいだろう。当時高校生や高専生だった人たちをどのようにPMが指導されたかの記述がもう少しあれば、より面白かったのではと思った。(匿名希望)

解説「携帯電話を活用した人々の流動解析技術の潮流」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■解説としての制約もあるだろうが、具体的な記述に欠けている。用語がWi-Fiだ、云々と新しくなっているだけの感じがして、本解説には新鮮味も覚えなかった。(匿名希望)

シニアコラム「IT好き放題：頑丈なシステムからしなやかなシステムへ」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「しなやかなシステム」への深入りがないので、情報系の専門的記事としては具体性に欠ける面はあるが、そこが「好き放題」なのかなと思う。(匿名希望)

コラム「"I" 見聞録：コンピュータの歴史展」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■記事の中身と関係ありませんが、「コンピュータの歴史展」は、ちょうどそのころ現地にいたので、事前に知っていたら見に行っていたのにと残念に思いました。(米澤 恵)

■広島ではPRされたのだろうが、県外では開催が分からなかったのは残念だった。古くて名のある機器の展示は、どんどん拡張していただくと現在のIT社会の原点が分かって、子どもにも現在までの苦しみも分かってもらえるだろう。(匿名希望)

特集「情報処理学会推奨修士論文・卒業論文速報」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■修士論文や卒業論文の要旨を特集として掲載する意義が理解できなかった。ページを割いて特集とされると手抜きのような印象を受ける。学術論文誌ではなく速報ということで研究内容の詳細も分からないのだから、お金を払って購入されている雑誌である以上、きちんとした編集・取材雑誌として発刊してほしい。(匿名希望)

■学会発表での修士論文の紹介は、おそらく当該学生には非常に励みになると思うので、内容を別として学会として会誌に掲載することに意味がある。特に、普段見慣れない項目(酪農・幼稚園・鉢植え・系図等々)があつて、各分野へのITの進出の方向性も見られたのは良かった。(匿名希望)

古機巡礼/二進伝心「オーラルヒストリー：西野博二氏インタビュー」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■会誌としては、このような先人の語りや思いを若い世代へ伝えることも非常に重要な課題なので、本記事はその面では秀逸だと思う。(匿名希望)

■対談記事は読みにくい。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義:コラム:プログラミングは楽しいですか?」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■技術者として同意できる意見を表明してくれた。(阿南佳之)

■「プログラミングを本当の意味で楽しいと思えるためには、まず意味が分かること」という主張は、私には少し違和感がありました。それは、プログラミングをするには論理的思考が不可欠であるにもかかわらず、論理的思考に興味がある人ばかりではないだろう、と考えたことが理由です。論理的な思考にあまり興味がないという人には、「どういうプログラムが欲しいですか」という感じで成果物をイメージさせると、プログラミングすることに対するポジティブな動機付けになるかもしれないと思いました。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義:JABEEを通じた大学教育の質的保証(前編)」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■JABEE認定プログラムの修了生にとって、実際にどのようなメリットがあるのかも知りたかった。(南保英孝)

■JABEEについては今後も継続的に取り上げてほしい。また、JABEE認定プログラム修了生が、実社会においてきわめて高く評価されている現状も取り上げてほしい。(水野光朗)

■実際の活用段階では、単に教育科目の名称がJABEE基準に合致していることが認定に反映されているようで、これでは意味がないと私は思っている。また、記事の最後のセクションでの「伝統校」という表現が気になった。こういう場で使用するべきでないと思う。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義:創造的で効果的な技術士CPD(継続研鑽)に向けて」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■私自身は技術士なので、今月の記事が少しでも技術士や技

術者育成に関する理解につながればよいと思いました。機会があれば、技術士でない方にとって、技術士がどう見えているかということを知りたいと思っています。(匿名希望)

■より具体的に、たとえば大学でCPDを行うには、どのような部署でどのような取り組みをすればいいか等の実践例が示されているとよかった。技術士そのものの資格に関しても、PEやCEngと同等とあるが、PEと即互換性があるのか等について、たとえば、一般の情報系学生が資格取得を目指すときの方向性を示してもらえれば、教育面でも意味があったのだがと、少し残念に思った。(匿名希望)

教育コーナー「べた語義:日本技術士会が提供する初期専門能力開発」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■博士前期課程を修了予定の学生が、希望の大手企業を受験する場合に、TOEICの点数は気にするが、技術士資格はまったく気にもかけない。さらに、今月号の「未踏コース」の人たちは、果たして技術士資格を気にしているのだろうか。情報系における技術士資格の意味に関して、より明快で実際の記述を望む。(匿名希望)

その他の記事に関しては、以下のようなご感想をお寄せいただきました。

■特に悪い記事はないが、内容的にマンネリ感がある。(中村吉勝)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■企業に勤める身としてはB5ハンディサイズぐらいで昼休みに持ち出して読める程度の軽さが欲しい。Newsweek的に丸めて持ち運べる形でもよい(今回は興味深い記事も多く、またせっかくの情報が漏れてしまうのは惜しいが、時間が取れるのは昼休み程度なので)。(匿名希望)

【本欄担当 海老澤竜、内澤 啓/書評・ニュース分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/dokusha.html>>にも掲載しています。Web版では、紙面の制限のため掲載できなかったコメントも掲載していますので、ぜひ、こちらでも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については <URL: <http://www.ipsj.or.jp/magazine/sippitsu/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。<URL: <http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
情報処理学会 会誌編集部
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IP SJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「ゲームプログラミング」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/12-GI.html	2月20日(月)		
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/12-EMB.html	2月20日(月)		
	2012年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」 モニタ募集 http://www.ipsj.or.jp/magazine/topics/2012monitor.html	2月24日(金)		
	東海支部学生研究発表会助成 http://www.ipsj-tokai.jp/	2月28日(火)		
	デジタルプラクティス「情報が観光を創る・磨く・鍛える(仮)」 特集論文募集 http://www.ipsj.or.jp/dp/cfp/dp0304s.html	3月5日(月)		
	東海支部平成23年度学生論文奨励賞募集 http://www.ipsj-tokai.jp/	3月15日(木)		
	論文誌「教育とコンピュータ」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-CE.html	3月19日(月)		
	論文誌「情報通信社会の新潮流をつくるモバイル通信と 高度高速システム」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-MBL.html	3月31日(土)		
	論文誌「より豊かで安心・安全な社会を実現するための コラボレーション技術とネットワークサービス」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-GN.html	4月9日(月)		
	論文誌「使うシステムから使えるシステムへ」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-IS.html	4月16日(月)		
	論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-DPS.html	5月7日(月)		
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-SE.html	5月7日(月)		
	論文誌「音声ドキュメント処理」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-SLP.html	5月31日(木)		
	論文誌「危機管理の視点を考慮したインターネットと運用技術」 特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-IOT.html	6月18日(月)		
	論文誌「音楽情報処理の新展開(音楽情報科学研究会20周年 記念特集)」特集への論文募集 http://www.ipsj.or.jp/journal/cfp/13-MUS.html	7月2日(月)		
2月17日(金)	連続セミナー 2011第6回「センサ、デバイスによる新たな 情報と高度交通システム」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2011/index.html		定員になり次第	化学会館7Fホール
2月23日(木)～ 2月24日(金)	第76回オーデイオビジュアル複合情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/avm76.html	12月19日(月)	当日のみ	早稲田大学西早稲田 キャンパス
2月28日(火)～ 2月29日(水)	第120回システムソフトウェアとオペレーティング・システム 研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/os120.html	1月15日(日)	当日のみ	七島信用組合 八丈島支店
2月29日(水)～ 3月1日(木)	第150回マルチメディア通信と分散処理・ 第56回 コンピュータセキュリティ合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/dps150csec56.html	1月11日(水)	当日のみ	横浜市開港記念会館
3月1日(木)～ 3月2日(金)	第87回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mps87.html	1月5日(木)	当日のみ	指宿市 市民会館
3月2日(金)～ 3月3日(土)	第27回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gi27.html	1月10日(火)	当日のみ	東京農工大学小金井 キャンパス
3月2日(金)～ 3月3日(土)	第155回システムLSI設計技術・ 第24回組込みシステム合同研究発表会 (ETNET2012) http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/sldm155emb24.html	1月16日(月)	当日のみ	ホテル松島大観荘
3月6日(火)～ 3月8日(木)	情報処理学会 第74回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/74kai/index.html		2月17日(金)	名古屋工業大学
3月11日(日)～ 3月13日(火)	第166回知能システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics166.html	1月20日(金)	当日のみ	北海道定山溪
3月12日(月)～ 3月13日(火)	第61回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・ 第33回ユビキタスコンピューティングシステム合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/mbl61ubi33.html	1月13日(金)	当日のみ	情報通信研究機構 (NICT) 本部
3月14日(水)～ 3月15日(木)	第139回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/all139.html	1月18日(水)	当日のみ	信州大学 松本キャンパス
3月15日(木)～ 3月16日(金)	第8回ネットワーク生態学シンポジウム http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html		定員になり次第	慶應義塾大学 (湘南藤沢キャンパス)
3月15日(木)～ 3月16日(金)	インタラクション2012 http://www.interaction-ipsj.org/2012/index.html	11月11日(金)	2月13日(月)	日本科学未来館
3月15日(木)～ 3月16日(金)	第181回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/cvim181.html	1月11日(水)	当日のみ	東京工業大学
3月15日(木)～ 3月16日(金)	第119回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/is119.html	1月12日(木)	当日のみ	専修大学
3月15日(木)～ 3月16日(金)	第88回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/pro88.html	1月13日(金)	当日のみ	産業技術総合研究所

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
3月15日(木)～	第175回ソフトウェア工学研究発表会	1月20日(金)	当日のみ	化学会館会議室
3月16日(金)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/se175.html			
3月16日(金)	第48回高度交通システム研究発表会	1月20日(金)	当日のみ	電気通信大学 (東京都調布市)
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/its48.html			
3月21日(水)	第167回知能システム研究発表会	2月3日(金)	当日のみ	名古屋大学
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ics167.html			
3月21日(水)～	第147回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会	1月20日(金)	当日のみ	JAIST東京サテライト (品川)
3月22日(木)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hci147.html			
3月21日(水)～	第83回グループウェアとネットワークサービス研究発表会	1月20日(金)	当日のみ	電気通信大学
3月22日(木)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/gn83.html			
3月26日(月)～	第133回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会	1月24日(火)	宿泊申込が必要 (別途案内予定)	有馬ビューホテル うらら
3月27日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/hpc133.html			
3月26日(月)～	第23回エンタテインメントコンピューティング研究発表会	1月31日(火)	当日のみ	ポートアイランド 臨床研究情報センター
3月27日(火)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ec23.html			
3月26日(月)～	第106回情報基礎とアクセス・	1月31日(火)	当日のみ	白百合女子大学
3月27日(火)	第85回デジタルドキュメント合同研究発表会			(東京都調布市)
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/ifat106dd85.html			
3月27日(火)～	第191回計算機アーキテクチャ研究発表会	1月27日(金)	当日のみ	長崎大学
3月28日(水)	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/arc191.html			
3月30日(金)	第37回システム評価研究発表会	1月27日(金)	当日のみ	会津大学
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eva37.html			
5月16日(水)	第56回電子化知的財産・社会基盤研究発表会	2月22日(水)	当日のみ	東京都心部の予定
	http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/eip56.html			
5月16日(水)～	先進的計算基盤システムシンポジウム (SACIS2012)			神戸国際会議場
5月18日(金)	http://sacsis.hpcc.jp/			
5月23日(水)～	The Sixth International Conference on Mobile Computing and			沖縄
5月25日(金)	Ubiquitous Networking (ICMU 2012)			
	http://www.icmu.org/icmu2012/			
7月4日(水)～	マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOMO2012)	3月9日(金)		山代温泉ホテル百万石
7月6日(金)	シンポジウム			
	http://www.dicom.org/2012/cfp.html			
7月16日(月)～	The 2012 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2012)			トルコ (イズミール)
7月20日(金)	http://snowman.nagaokaut.ac.jp/saint/			
8月27日(月)～	CollabTech2012 6th International Conference on Collaboration Technologies			北海道大学国際 交流会館
8月29日(水)	http://www.collabtech.org/			
9月4日(火)～	FIT2012 第11回情報科学技術フォーラム			法政大学
9月6日(木)	http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/			小金井キャンパス
11月11日(日)～	ICPR2012 第21回パターン認識国際会議			つくば国際会議場
11月15日(木)	http://www.icpr2012.org/			

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 1月17日 論文誌「危機管理の視点を考慮したインターネットと運用技術」特集 論文募集
- 1月15日 人材募集情報 (Vol.53 No.2)
- 1月15日 トリセツアップリバータテスター募集
- 1月05日 論文誌「ネットワークサービスと分散処理」特集 論文募集
- 12月27日 教育ビジョン 2011 「誰もが情報技術に主体的に向き合う社会の実現をめざして」
- 12月26日 2012年度 会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集
- 12月21日 論文誌「組込みシステム工学」特集 論文募集
- 12月21日 論文誌「情報通信社会の新潮流をつくるモバイル通信と高度交通システム」特集 論文募集

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)
賛助会員 (企業) 31,500 円 ()
賛助会員以外の企業 52,500 円 ()
*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

***特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと**

■国立天文台

募集人員 1名
所属/勤務場所 国立天文台三鷹HSCプロジェクト室
業務内容 すばる望遠鏡用次世代広視野カメラHyper Suprime-Cam (HSC) の処理済みデータアーカイブシステムの構築と効率的情報抽出ソフトウェアの開発. HSCについてはWebページ (http://www.subarutelescope.org/Projects/HSC/j_index.html) を参照してください
応募資格 上記業務に必要な知識と経験を有すること, UNIXに関する知識を有すること, 少なくとも1つの高級言語 (C, C++) のコードを書いた経験があること (Python, PHP, Javascriptなどの知識があれば, より好ましい), SQL言語を用いてリレーショナルデータベースを検索した経験があること. 未修得の場合, 採用後C++, Python, PHP, Javascriptなどを習得できること, バージョン管理ソフトウェアの運用方法およびデータベース管理システム (PostgreSQL) の運用方法を習得できること. 作業の都合上, 英語で最低限のコミュニケーションを外国人ととる必要がある場合があるが, それに対応する英語力を有すること
着任時期 採用決定後なるべく早い時期
提出書類 履歴書 (市販のもので可) およびこれまでの業務経験 (様式自由)
応募締切 2012年2月16日 (必着)
送付先 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台 事務部総務課人事係長
「HSCデータベース専門研究職員応募」と朱書し郵送 *応募書類はこの選考以外のいかなる目的にも使用いたしません
照会先 Hyper Suprime-Cam プロジェクト 宮崎 聡 E-mail:satoshi@subaru.naoj.org Tel(0422)34-3871
その他 【雇用期間】採用決定後なるべく早い時期~2012年3月31日 (年度ごとの更新, 4回まで更新可)
【勤務時間】週5日, 38時間45分勤務
【待遇】日給 (経験により) 8,384円~14,024円. 規程により, 通勤手当, 住居手当, 期末勤勉手当支給. 雇用保険, 社会保険, 厚生年金加入
【選考方法】書類選考の上, 面接を実施 (面接日は後日連絡). なお, 現在も含め, これまで国立天文台の契約職員であった方が再び採用の候補になる場合は, 再任のための特別な審査が別途行われます

■信州大学総合情報センター

募集人員 助教 2名
専門分野 信州大学の情報化, 情報戦略, 情報システム, ネットワークシステム等を担う総合情報センターにおいて, 研究開発業務を担当する以下のa, b 1名ずつ募集
a. 広域ネットワーク, 分散システムに関して構築・運用を主として担当し, 開発・研究ができる方
b. 教育基盤システム (LMS), クラウドシステムに関して構築・運用を主として担当し, 開発・研究ができる方
応募資格 大学院修士課程修了またはこれに相当する教育・研究歴を有し, 当該専門分野で業績があり, 大学の教育および学生指導に熱意があり, 学術研究に意欲があること
着任時期 2012年6月1日, またはそれ以降のできるだけ早い時期
提出書類 (1) 希望審査区分, (2) 履歴書, (3) 健康診断書, (4) 研究・開発業績リスト, (5) 主要論文別刷, (6) 上記専門分野に関するこれまでの具体的な実績, (7) 総合情報センターでの活動に関する抱負, (8) 応募者について紹介・参考意見を述べることできる方2名の氏名, 所属, 連絡先
応募締切 2012年3月30日 (必着)
送付先 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 信州大学総合情報センター
照会先 総合情報センター長 教授 不破 泰 E-mail:fuwa@shinshu-u.ac.jp
その他 詳細はWebページ (<http://www.shinshu-u.ac.jp/recruit/2012/01/246124330.html>) をご覧ください

■北海道大学情報基盤センター

- 募集人員 教授 1名(常勤・任期なし)
- 所 属 デジタルコンテンツ研究部門
- 専門分野 デジタルコンテンツ研究部門では、現在、学術情報の体系化とデジタルコンテンツの作成・検索システムの研究およびWBT、VOD、CALL等のデジタルコンテンツ利用法の研究、デジタルコンテンツを利用する効率的な研究教育用情報基盤の研究およびマルチメディア環境を活用したデジタルコンテンツの生成・情報発信システムに関する研究を行っています。本公募では、特に、デジタルコンテンツの作成、利用、流通(国際的あるいは地域的)に関する先進的な研究を推進できる方を求めます
- 担当科目 デジタルコンテンツ研究部門において専門分野の研究に従事し大学院教育を担当するほか、情報基盤センターの運営等関連業務を担当
- 応募資格 次の(1)～(4)の要件をすべて満たす方
(1)博士の学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む)を有する、(2)デジタルコンテンツに関する研究の実績を有する、(3)学会活動等社会貢献活動の実績を有する、(4)大学院博士課程における教育・研究指導の実績(授業担当、主査あるいは副査等)または、これに相当する能力を有する
- 着任時期 2012年10月1日採用予定
- 提出書類 (1)履歴書、(2)業績リスト、(3)主要業績の原著作物(5編、コピー可)、(4)主要業績の説明および教育実績を含む研究・教育活動の概要、(5)競争的資金の獲得状況、(6)所属学会と役職等活動歴、そのほか社会貢献活動、(7)受賞歴、そのほか教育・研究活動および学会活動等社会貢献活動を評価できる資料、(8)本センターの運営等関連業務に対応する実績等、(9)将来の研究・教育に関する抱負と展望または応募の趣旨、(10)所見を求め得る方2名以内の氏名と連絡先
※詳細は下記Webページ掲載の正式公募文書を参照
- 応募締切 2012年4月16日(必着)
- 送 付 先 〒060-0811 北海道札幌市北区北11条西5 北海道大学情報環境推進本部情報推進課総務企画担当 Tel(011)706-2923
「デジタルコンテンツ研究部門教授応募書類在中」と朱書き簡易書留
- 照 会 先 情報基盤センター長 高井昌彰 Tel(011)706-2969
- そ の 他 北海道大学情報基盤センター(研究部門構成を含む)については、本センターWebページ(<http://www.iic.hokudai.ac.jp/>)をご覧ください



FIT2012 第 11 回情報科学技術フォーラム 査読付き論文・一般論文 講演募集予告

会 期：2012年9月4日（火）～6日（木）
会 場：法政大学（東京都小金井市梶野町3-7-2）

FIT2012 Web ページ <http://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2012/>

査読付き論文 受付期間(予定)：2012年3月 7日（水）～4月18日（水）
一般論文 受付期間(予定)：2012年4月25日（水）～5月24日（木）

- ◆論文ページ数：2～8ページ程度
- ◆講演時間：20分
- ◆3ページ目以降はエキストラページ料金（3,000円／ページ）が必要です。

電子情報通信学会 情報・システムソサイエティ(ISS)並びにヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)と情報処理学会(IPSJ)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT: Forum on Information Technology)」を開催しており、2012年9月には第11回目を法政大学で開催致します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れをくむものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。皆様の研究成果発表の場として、標記のとおり論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

●申込主要日程（予定）※査読付き論文と一般論文では、登録申込/投稿受付開始時期が異なりますので御注意下さい。

■査読付き論文（4～8 ページ程度または6～8 ページ程度）

登録申込/投稿受付開始：2012年3月 7日（水）
登録申込締切/査読用原稿の投稿締切
：2012年4月18日（水）
査読の採否結果通知：2012年6月20日（水）
論文誌への推薦可否結果通知(推薦希望者のみ)
：2012年6月22日（金）
最終掲載原稿締切：2012年7月 2日（月）

■一般論文（2～8 ページ程度）

登録申込/投稿受付開始：2012年4月25日（水）
登録申込締切：2012年5月24日（木）
最終掲載原稿締切：2012年7月 2日（月）

※登録申込と原稿投稿は、上記のFIT2012Webページよりお願い致します。

※登録申込、原稿投稿要領の詳細は、決定次第 FIT2012Web ページでお知らせ致します。

●査読付き論文（4～8 ページ程度）

査読付き論文は、FIT 設立に伴い新たに導入された企画です。

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 8 ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。また、採録された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の 5%を上限として優秀な論文を推薦、その中から船井ベストペーパー賞 3 件程度、FIT 論文賞 7 件程度を選定し、表彰式(FIT2012 会期中)にて表彰致します。船井ベストペーパー賞受賞論文には船井情報科学振興財団より賞金 20 万円、FIT 論文賞受賞論文には FIT 推進委員会より賞金 5 万円を贈呈します。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

なお、査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います(一般論文で発表となります)。

※一部の研究分野では査読付き論文の募集を致しません。査読付き論文の募集を行う研究分野については、Web ページを御覧下さい。

●論文誌への道！ 「FIT 査読付き論文」論文誌推薦制度（6～8 ページ程度）

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として電子情報通信学会または情報処理学会の論文誌へ推薦する制度がございます。

「FIT 査読付き論文」の申込みと併せて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2012 年 6 月末ごろに推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

●一般論文（2～8 ページ程度）

当該 FIT での発表件数の 1.5%を上限として、2012 年 12 月 31 日現在で 33 歳未満の講演者(査読付き論文および一般論文)を対象に優れた発表を選定し、ヤングリサーチャー賞(賞金 3 万円)として次回 FIT2013 の表彰式で贈呈します。

●問合せ先（FIT2012幹事学会）

105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 101 号室
社団法人 電子情報通信学会 集会事業部 TEL. [03] 3433-6691 FAX. [03] 3433-6659 E-mail:ieicefit@ieice.org

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	（主催・共催）	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			（協賛）	
		広告として取り扱う		
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
（1 ページ） 天地 260mm × 左右 175mm
（1/2 ページ） 天地 130mm × 左右 175mm
（1/4 ページ） 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

2012 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ募集のお知らせ

会誌編集委員会

会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」をより良くするために編集委員一同努力を続けておりますが、会員の方々の評価や希望をうかがい、今後の改善に役立てるために、モニタ制度を設けております。

関心のある方はぜひふるってご応募ください。

応募の資格 本会員で、モニタの役割を積極的に果たしていただける方。

モニタの役割 会誌毎号の本誌巻末の所定用紙または学会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) から、毎月アンケートに回答する。

- ・記事に対する評価
- ・記事に対する感想・意見
- ・記事テーマの提案
- ・そのほか全般的な意見・提案など

注) 会誌の記事をすべて読むといったことは必ずしも必要ではありません。自分の立場や問題意識、得意とする分野などを基準とした「独断と偏見による」自由な意見を期待します。

期 間 原則として 1 年間とします (2012 年 4 月～2013 年 3 月)。

対 象 号 会誌 53 巻 5 号～54 巻 4 号、および年に 4 回発行される「デジタルプラクティス」

謝 礼 貴重なご意見をいただいた方には薄謝または記念品を贈呈します。

募集人員 特に定めませんが、応募者数によっては当委員会で調整させていただくことがあります。

応募締切 2012 年 2 月 24 日 (金) 必着 *申込書を Fax するか、または E-mail でお申し込みください。

申込/照会先 情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係)

2012 年度会誌「情報処理」および「デジタルプラクティス」モニタ申込書

宛先：情報処理学会 会誌編集部門 (モニタ係)

E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

氏 名

会員番号 ()

住 所 〒

所 属

E-mail:

Tel () -

Fax () -

年 齢 (歳)

業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など) (e) 学生 (f) その他

職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務 (f) 会社経営・役員・管理職
(g) 教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など) (i) 学生 (j) その他



新刊!!

**ITText
メディア学概論**

山口治男 著
A5判/172頁/本体2,400円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報とコンピュータ**

河村一樹・和田 勉・山下和之・立田ルミ・
岡田 正・佐々木整・山口和紀 共著
A5判/176頁/本体2,200円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報とネットワーク社会**

駒谷昇一・山川 修・中西通雄・北上 始・
佐々木整・湯瀬裕昭 共著
A5判/192頁/本体2,200円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報と社会**

駒谷昇一 編著
A5判/220頁/本体2,500円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報システム基礎**

神沼靖子 編著
A5判/228頁/本体2,500円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報とコンピューティング**

河村一樹 編著
A5判/218頁/本体2,500円(税別)

ITText コンパイラとバーチャルマシン

今城哲二・布広永示・岩澤京子・千葉雄司 共著
A5判/212頁/本体2,800円(税別)

ITText コンピュータグラフィックス

魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・
向井信彦 共著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText コンピュータネットワーク

松下 温・重野 寛・屋代智之 共著
A5判/216頁/本体2,500円(税別)

ITText 音声認識システム

鹿野清宏・伊藤克亘・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著
A5判/216頁/CD-ROM付/本体3,500円(税別)

ITText エージェント工学

西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著
A5判/226頁/本体2,800円(税別)

ITText ヒューマンコンピュータインタラクション

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText オペレーティングシステム

野口健一郎 著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText データベース

速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明 共著
A5判/196頁/本体2,500円(税別)

ITText ソフトウェア工学演習

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著
A5判/228頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報リテラシー

海野 敏・田村恭久 共著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText 人工知能

本位田真一 監修 松本一教・宮原哲浩・永井保夫 共著
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText コンピュータアーキテクチャ

内田啓一郎・小柳 滋 共著
A5判/236頁/本体2,800円(税別)

ITText データマイニングの基礎

元田 浩・津本周作・山口高平・沼尾正行 共著
A5判/292頁/本体3,200円(税別)

ITText 自然言語処理

天野真家・石崎 俊・宇津呂武仁・成田真澄・福本淳一 共著
A5判/192頁/本体2,500円(税別)

ITText 応用Web技術

市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/210頁/本体2,500円(税別)

ITText 認知インタフェース

加藤 隆 著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText プログラム仕様記述論

荒木啓二郎・張 漢明 共著
A5判/210頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報と職業

駒谷昇一・辰己丈夫・楠元範明 共著
A5判/232頁/本体2,500円(税別)

ITText アルゴリズム論

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

ITText ソフトウェア開発

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著
A5判/224頁/本体2,800円(税別)

ITText 基礎Web技術

松下 温 監修/市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

ITText 知識マネジメント

大澤幸生 編著
A5判/232頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報セキュリティ

宮地充子・菊池浩明 編著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText 分散処理

谷口秀夫 編著
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

ITText Linux演習

前野謙二・落合 昭・生野莊一郎・塩澤秀和・高島俊徳 共著
A5判/224頁/本体2,500円(税別)

ITText インターネットプロトコル

阪田史郎 編著
A5判/272頁/本体2,800円(税別)

ITText 組込みシステム

阪田史郎 著 高田広章 編著
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

ITText システムLSI設計工学

藤田昌宏 編著
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

ITText Java基本プログラミング

今城哲二 編 布広永示・マッキン ケネスジェームス・
大見嘉弘 共著
A5判/234頁/本体2,500円(税別)

ITText 人画像処理

越後富夫・岩井儀雄・森島繁生・鷺見和彦・井岡幹博・
八木康史 共著
A5判/258頁/本体2,800円(税別)

ITText 情報理論

白木善尚 編 村松 純・若田賢一・有村光晴・渋谷智治 共著
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

ITText Java/UMLによるアプリケーション開発

布広永示・高橋英男 共著
A5判/208頁/本体2,600円(税別)

ITText Javaオブジェクト指向プログラミング

布広永示 編著
A5判/280頁/本体2,800円(税別)

ITText ユビキタスコンピューティング

松下 温・佐藤明雄・重野 寛・屋代智之 共著
A5判/222頁/本体2,800円(税別)

ITText HPCプログラミング

寒川 光・藤野清次・長崎利夫・高橋大介 共著
A5判/246頁/本体2,800円(税別)

ITText 確率統計学

須子統太・鈴木 誠・浮田善文・小林 学・後藤正幸 共著
A5判/264頁/本体2,800円(税別)

ITText 離散数学

松原良太・大鷲彰昇・藤田慎也・小関健太・
中上川友樹・佐久間雅・津垣正男 共著
A5判/256頁/本体2,800円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ
情報ネットワーク**

岡田 正・駒谷昇一・西原清一・水野一徳 共著
A5判/160頁/本体2,300円(税別)

お申し込みは



101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
TEL 03(3233) 0641 FAX 03(3293) 6224

<http://www.ohmsha.co.jp/>
本体価格(税別)は変更する場合があります。



【特集：社会活動を支える情報システム】

- 特集「社会活動を支える情報システム」の編集にあたって
児玉公信
- ネットワーク通信情報の収集によるユーザ追跡 上原雄貴 他
- セキュリティプロトコルにおける暗号アルゴリズム調査手法とその考察 佐藤亮太 他
- 防護動機理論を援用したボット対策促進メッセージによる受信ユーザの態度変容要因の抽出と知識による影響の分析と検証
島 成佳 他

【特集：ソフトウェア工学】

- 特集「ソフトウェア工学」の編集にあたって 野田夏子
- 要求獲得のためのオントロジを Web マイニングにより拡充する手法の提案と評価 海谷治彦 他
- 分析履歴を用いたソフトウェア品質要求のスペクトル分析
海谷治彦 他
- プロブレムフレームに基づく組込みシステムの状態遷移分析支援システム 紫合 治 他
- 振舞いプロパティに基づく自動車組込みソフトウェアの協調制御アーキテクチャ設計方法の提案と評価 青山幹雄 他
- ソフトウェアモデル検査とテストケース生成の統合 橋本祐介 他
- Performance Evaluation of A Testing Framework using QuickCheck and Hadoop Yusuke Wada 他
- 拡張運用プロファイルに基づく最適化されたテストスイートの生成手法 高木智彦 他
- 設計モデルを利用したテスト用データベース自動生成手法
丹野治門 他
- Feature Location を用いたソフトウェア機能理解の対話的支援
林 晋平 他
- CX-Checker : C 言語プログラムのためのカスタマイズ可能なコーディングチェッカ 大須賀俊憲 他
- プログラム依存グラフを用いた増分的なコードクローン検出
肥後芳樹 他
- オープンソースソフトウェアにおけるコメント記述およびコメントアウトとフォールト潜在との関係に関する定量分析 阿萬裕久
- ピアレビュー網羅率を用いた品質評価技法の提案 久野倫義 他
- dcNavi : デバッグを支援する関心事指向推薦システム
塩塚 大 他
- ソースコードコーパスを利用したシームレスなソースコード再利用手法 山本哲男 他
- ソフトウェアが中心でない製品における既存技術を利用したソフトウェア改訂支援 海谷治彦 他
- 欠損率の高いプロジェクトデータを利用したプロジェクトの成否予測 出張純也 他
- 最短時間でサービス回復を可能とする障害復旧フローの提案と評価 長野伸一 他

【特集：分散処理とネットワークサービス】

- 特集「分散処理とネットワークサービス」の編集にあたって
串田高幸
- ODMT : On-demand Inter-domain Multicast Tunneling
Basuki Achmad 他
- メタデータ制約を用いた協調プロトコルの自動合成手法
高橋竜一 他
- リアルタイムコミュニケーションの品質を確保するための短時間
可用帯域推定方式 大芝 崇 他
- ISP 向け低コストトラフィック分類手法の提案 後藤崇行 他

- Autonomous L3 Cache Technology for High Responsiveness
Hironao Takahashi 他
- Proposal of Grid Monitoring System with Fault Tolerance
Sherihan Abu Elenin 他
- 分散ファイルシステムにおけるユーザコンテキストを利用した
ファイル配置アルゴリズム 岡田耕司 他
- 高密度無線 LAN 環境における仮想化技術を用いたアクセスポ
イント集約機構 永井隆博 他
- 密なモバイルセンサネットワークにおける地理的粒度を考慮した
データ収集のためのエージェント制御方式 後藤啓介 他
- 高精度時刻同期を特徴とする分散型モバイルネットワークエミ
ューラ 小泉 稔 他
- sBike : 参加型センシングを志向したモバイルセンシングによる
自転車走行状態収集・共有機構 齊藤裕樹 他
- すれ違い通信を活用した複数携帯電話端末による省電力協調動
画ダウンロード手法 高松 悠 他
- DDoS 攻撃に対し排他的論理和と確率的 Marking 方式を用いる
ことでルータへの負荷分散を実現する IP Traceback
井上慎一郎 他
- 非構造化 P2P ネットワークにおけるトラストを用いたファイル交
換要求の分散 松本愛咲 他
- Prevent Contents Leaking in P2P CDNs with Robust and Quick
Detection of Colluders Ervianto Abdullah 他
- Cell/B.E. における暗号処理の効率的なオフロード方式の提案と
実装 齋藤孝道 他
- スマートフォン向けプライバシ強化型操作履歴ミドルウェアの設
計と実装 太田 賢 他
- 複合攻撃への検知精度を向上させる χ^2 乗手法の提案と評価
小島俊輔 他
- ログの改ざんと喪失を防止するシステムの仮想計算機モニタによ
る実現 佐藤将也 他
- 時間制約をもつ寄り道経路探索システムの実現と評価
鈴木源吾 他
- 人の位置移動による状況即応型デジタルサイネージの構成法
木原民雄 他

【一般論文】

- An RSSI-Based Cross Layer Protocol for Directional Wireless
Networks and its Implementation Tao Xu 他
- アドホックネットワークにおけるコードセンス CDMA 型 MAC
プロトコル 宮路祐一 他
- ポーズを考慮した話し言葉言語モデルの構築 太田健吾 他
- 移動速度に応じた疑似 3D スクロールによるビデオナビゲーション
中込訓之 他
- ミュージアム・コンテンツを基盤とする次世代型展示支援シス
テムの研究 星野浩司 他
- 授業形式の 2 段階過程キーボード教育の試み 佐藤ひろし

* : 推薦論文 Recommended Paper

† : テクニカルノート Technical Note



CONTENTS

Preface

Path to Cybernetic Training
Koji MUROFUSHI (Chukyo Univ. / Mizuno Corp.)

Special Features

Robust NLP for Real-world Data

- 202 0. Foreword
Takashi INUI (Univ. of Tsukuba)
- 204 1. Emoticon Processing - How to Non-trivially Make a Computer Understand Trivial Expressions -
Michal PTASZYNSKI (Hokkai-Gakuen Univ.)
- 211 2. Processing of New Words and Informal Spellings
Ryohei SASANO (Tokyo Institute of Technology) and Nobuhiro KAJI (The Univ. of Tokyo)
- 217 3. Why is Japanese so Hard to Learn? - A Preliminary Investigation on Realistic Japanese Learners' Corpus and Application of Natural Language Processing to Japanese Language Learning and Education -
Tomoya MIZUMOTO and Mamoru KOMACHI (Nara Institute of Science and Technology)
- 224 4. English Learning Support - Application of Methods for Correcting Grammatical Errors Automatically -
Hokuto OTOTAKE (Fukuoka Univ.)
- 229 5. Early Lexical Development in Japanese-learning Children
Tessei KOBAYASHI and Masaaki NAGATA (Nippon Telegraph and Telephone Corp.)
- 236 6. Information Extraction from Twitter - Epidemic Surveillance and Damaged Cultural Assets -
Eiji ARAMAKI (The Univ. of Tokyo) and Taiichi HASHIMOTO (Tokyo Institute of Technology)
- 241 7. ANPI_NLP - Mining Safety Information after Disasters Using Natural Language Processing -
Masato HAGIWARA, Koji MURAKAMI (Rakuten Institute of Technology), Graham NEUBIG (Kyoto Univ.) and Yuichiroh MATSUBAYASHI (National Institute of Informatics)

Quick Report on Doctoral Theses Recommended by IPSJ SIGs

- 262 Foreword
Kiminori MATSUZAKI (Kochi Univ. of Technology)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 249 Remember the Importance of Professional Ethics
Eiichi YONEDA

Information Resources : Trails of RoboCup - Chart toward 2050 -

- 250 RoboCup@Home League
Komei SUGIURA (National Institute of Information and Communications Technology)

Series : Shigeki Hosokawa Smartphone Apps Development Project

- 301 Bate Version Testing
Yasushi ANZO (Freelance Journalist for IT and Consumer Electronics)

"Peta-gogy" for Future

- 302 Some Discussions about Information Education: A Retrospective of the Educational Practices of KARIYADO and KONDO Classes
Kiminobu KODAMA (Information Systems Institute, Ltd.)
- 304 Computer Ethics Video
Atsushi NAKAMURA (Hiroshima Univ.)
- 310 Reciprocal Relationship between e-Learning and Education
Eiko TAKAOKA (Sophia Univ.)
- 316 ALGO-LOGIC, A Software Game for Practicing Algorithms
Yutaka OHYAMA (NEC Corp.)
- 321 In Visit of Kobo-daishi (2) - The Chrysanthemum and the Sword
Toshihiko KOTOH (Reliability Engineering Association of Japan)

Column : "I" Report

- 322 5th Sensor and Overlay Networks
Satoshi MATSUURA (Nara Institute of Science and Technology)

-
- 326 IPSJ Activity Report
 - 335 Book Review

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

ご意見をお寄せください！

【3月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/magazine/enquete.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。
http://www.ipsj.or.jp/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種：(a) 企業（サービス業）(b) 企業（製造業）(c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教員（大学・大学院）(h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別：(a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載）(b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号（2012年3月号）の記事は良かったですか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a…大変良い b…良い c…普通、どちらとも言えない d…悪い e…読んでいない]

- 巻頭コラム：サイバネティック・トレーニングへのアプローチ 10-1- []
- 特集：不自然言語処理
1. 顔文字処理 10-2- []
2. 新しい語・崩れた表記の処理 10-3- []
3. なんで日本語はこんなに難しいなの？ 10-4- []
4. 英語学習支援 10-5- []
5. 日本語学習者の初期語彙発達 10-6- []
6. Twitter からの情報抽出 10-7- []
7. ANPL/NLP 10-8- []
- IT好き放題：専門家としての職業倫理の重要性を再認識すべし 10-9- []
- ロボカップみちるべ：ロボカップ@ホームリーグ 10-10- []
- 特集：研究会推薦博士論文速報 10-11- []
- 細川茂樹 アプリ開発プロジェクト：第2回 ベータテスト開始 10-12- []
- べた語義：コラム：情報教育をめくって 10-13- []
- べた語義：情報倫理ビデオの目指したもの 10-14- []
- べた語義：eラーニングと教育の相互関係 10-15- []
- べた語義：アルゴリズム体験ゲーム「アルゴロジック」 10-16- []
- べた語義：特別コラム：お大師様を訪ねて (2) 菊と刀 10-17- []
- "I" 見聞録：第5回 広域センサネットワークとオーバレイネットワークに関するワークショップ 10-18- []
- IFIP—情報処理国際連合—近況報告 10-19- []
- 書評：科学技術系のライティング技法 10-20- []

- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔11-1〕良かった記事 11-1- []
- 〔11-2〕この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 11-2- []
- 〔11-3〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-3- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）

(12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入），その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。

- 〔12-1〕良くなかった記事 12-1- []
- 〔12-2〕この記事に対する貴方の立場：a) 専門家 b) 非専門家 12-2- []
- 〔12-3〕選んだ理由（下記から，いくつでも選択可）..... 12-3- []
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に記入ください）

〔13〕今月の特集に対する貴方の立場を教えてください。

- 〔13-1〕不自然言語処理：a) 専門家 b) 非専門家 13-1- []

〔14〕設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について，その理由を教えてください。

〔15〕会誌に対するご意見やご感想，著者への質問，巻頭コラムに登場してほしい人物，今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。（スペースが足りない場合はお手数ですが別紙を追加してください）

■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会（本部） ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担 当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会 員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会，会費，変更連絡，退会，在会証明，会員証，会費等口座振替，海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容，広告掲載，転載許可，出版，著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌（ジャーナル）の編集・査読
調査研究／教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録，研究発表会，シンポジウム，研究グループ，論文誌（トランザクション）
■ 事業部門			
事 業／国 際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会，FIT，連続セミナー，プログラミング・シンポジウム，国際会議，IFIP 委員会
■ 管理部門			
総 務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会，支部，役員選挙，名誉会員
経 理	keiri@ipsj.or.jp		出納，送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画，電子化委員会，電子図書館，IPSJ メールニュース
図 書	tosh@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒 105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/	

特集を企画するにあたって、「どこか不自然に感じられる言語現象」を話題の中心にしようということは比較的早い段階で決まったのですが、2つの事柄について悩みました。

1つは、特集の構成としてどのような不自然な現象を取り上げるか、ということでした。特に、一般の人であれば読解が大変困難な特許文書を処理対象とした言語処理技術は、近年技術開発も進んでおり、特集に相応しいトピックだったのですが、今回は馴染みの度合いの観点からほかのトピックよりも優先度を下げ、構成から外すことにしました。またどこかで機会があれば、特許の言語処理の面白さ、難しさについても、ご紹介できればと思います。

もう1点は、特集名についてです。過去にも、場所や機関は違えど、同様の趣旨によるイベント等が開催されており、そこでキャッチコピー的に使われていた言葉が、本特集名でも採用した「不自然言語処理」という用語でした。キャッチコピーと

いう側面の強さも相まって、学術的には認められているかどうか分からない用語が学会誌の特集企画名として相応しいかどうか、必要のない反感やミスリードを招いたりしないか、考えました。しかしながら、今回は「今後、時間が経過したとき、似た趣旨のもとで行われている活動は、同じキーワードを共有し、同様に検索されるべき」という思いから、そのまま特集名として採用することにしました。現時点でも、この用語でインターネット検索をすることで、いろいろな関連情報を収集することが可能です。本特集に興味を持った方がおられましたらぜひ試してみてください。

最後に、企画趣旨に賛同くださった執筆者の皆様、慣れない編集用務をいつもサポートしてくださった事務局の皆様に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

(乾 孝司／本特集エディタ)

本特集「研究会推薦博士論文速報」も回を重ねるにつれ、読者モニタからの評価・コメントが徐々に厳しくなっており、できるだけ良い記事となるよう、役立つであろう情報を含めるよう構成を工夫したり、また、すべての原稿に対して編

集段階で手を入れたりと努力しました。さまざまな専門分野を俯瞰できるこの企画に対し、このようにすると嬉しいというご意見があればぜひお寄せいただければと思います。

(松崎公紀／本特集エディタ)

次号（4月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」日本を元気にする ICT

愛と ICT / ICT ですべての世代を元気にしよう / 仮想化の仮想 / 日本を元気にするもったいない精神 / 学と民との協働によるシステム開発—医療現場における多言語対話支援をめざして— / 子供の頃描いた夢の再考—日本を元気にするストーリーミング配信— / 日本を元気にするセキュリティ技術 / つながり続けるための ICT / スマートフォン向け屋内測位技術の動向と新技術の紹介 / 大規模災害と官学連携プラットフォームによる被災地支援の試み / 人をつなぐ対面コミュニケーション支援技術 / Android 向け適正アプリの開発と配信サイト～日本の伝統 ICT 産業の危機～

解 説：任意の凸多面体は重なりのない展開図に展開できるだろうか？…………… 堀山貴史

IPv4/IPv6 共存環境下における IX の役割 …………… 石田慶樹 他

連 載：細川茂樹 アプリ開発プロジェクト

教育コーナー：ぺた語義

コラム：“I” 見聞録 / 巻頭コラム / シニアコラム：IT 好き放題

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 23,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」53巻3号 掲載広告(五十音順)

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> インタフェース……………前付2 | <input type="checkbox"/> 東京工業大学……………表2対向 |
| <input type="checkbox"/> オーム社……………前付3 | <input type="checkbox"/> 富士通……………表2 |
| <input type="checkbox"/> サイエンス社……………目次前 | <input type="checkbox"/> ぶらっとホーム……………表4 |
- すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。
Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/annai/aboutipsj/sanjo.html>) 「賛助会員一覧」のページからも
各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

Google

グーグル (株)

GREE

GREE (株)

docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



NTT データ (株)



NTT コムウェア (株)

OKI

沖電気工業 (株)

楽天

楽天 (株)

ilovex

(株) アイロベックス

uejima

(株) うえじま企画

SANBI

三美印刷 (株)

SONY

ソニー (株)

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)



研究成果を
発表するなら
どこがいいかな?

この分野で
未来の情報社会を
リードできそうだ。

よし!
情報処理学会に入会して
論文を投稿しよう!

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集!!



申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp